

主に関係する 領域・教科	日常生活の指導	氏名：廣野義和
教材・教具名	支援用スプーン	
ねらい	正しいスプーンの持ち方ができるようになる。	

教材教具の説明（写真等を使ってわかりやすく記述）



外部専門家活用講師平譚氏の整理会で小学部児童H君の食事指導の際に支援用スプーンを作ってみてはという助言で制作したもの。最初は円柱の中にスプーンを通したが、使いにくい部分があり、改良を加えた。改良型は、円柱の頭部に直接スプーンを木ねじで固定し、握った際円柱の頭部が出ないためスムーズに食事を取ることができるようになった。（写真下）



制作のポイント	使用材料・部品
（箇条書きで記入） ・小学部児童が握りやすい大きさになるよう、サイズを工夫した。（制作中に児童に実際握り具合を確認した。）	円柱（木製の積み木）プラスチックスプーン、木ねじ、円柱頭部用透明シート（クリアファイルを切り抜いたもの）

実践	（使い方、工夫など、活用場面を写真等でわかりやすく説明 箇条書きで記入） （裏面使用も可） ・実際の給食時に児童に使用。 ・支援用スプーンの握り方が間違っているときは、その都度支援者が正しい握り方を指導する。 ・上手に握って食べられているときは、褒めて評価する。
	（箇条書きで記入） ・スプーンの握り方がわしづかみから正しい握り方となった。 ・摂食がスムーズになり、児童の食事に対するストレスが軽減された。 ・つかむ部分が木製のため、洗った後、しっかり乾かさないと不衛生になる心配がある。ニスや防腐剤を塗ることも考えたが舐めたり口にはおぼる可能性もあり、良い方法があったら教えてほしい。
効果・改善点等	